

特集 5 地震後めまい症候群 (post earthquake dizziness syndrome: PEDS)



の むら やすゆき

野村 泰之

日本大学医学部

耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野 診療准教授

要旨

大地震の後、もう実際には地面が揺れていないにもかかわらず、あたかも地震で揺れているかのようなめまい感覚が繰り返し生じることがある。症状がひどいと日常生活や仕事にも支障を来す場合があり、ひどくならないうちに耳鼻咽喉科・めまい相談医などの専門医を受診するとよいとされている。この背景には、2011年の東日本大震災の後に多くの人がめまい症状を訴えたことから、「地震後めまい症候群 (post earthquake dizziness syndrome: PEDS)」という疾患概念が提唱され、その後、国内外の医師・研究者たちが追試を行ってきた経緯がある。

本稿ではその原型となった我々の2011年の研究調査を基にPEDSの概要を解説する。

キーワード

地震酔い, めまい, 大地震